

北ア深奥、雲上の楽園と言われる所行ってきた

高天ヶ原、雲ノ平

実施日 2023年8月30日(火)～3日(土)

天候 全日 晴れ

リーダー

参加者 宮崎敏男、佐藤聡美 計2名

費用 新宿→折立夜行15,500円

折立→富山駅4,500円 JR

富山→東京(かがやき510

号)12,960円・太郎平小屋(2

泊)22,000円・高天原山荘12,

000円・雲ノ平山荘14,000円

タイム 8/30 折立(7:15)三角点(9:30)五光ベンチ(11:00)太郎平小屋(12:00) 泊

8/31 太郎平小屋(5:30)薬師沢小屋(8:28)B沢出合い(11:20)高天ヶ原峠(14:20)高天ヶ原山荘(15:20)高天ヶ原温泉(16:00～17:00) 泊

9/1 高天ヶ原山荘(5:45)高天原峠(7:00)雲ノ平山荘(10:00)奥スイス庭園・キャンプ場・スイス庭園・雲ノ平周遊(10:30～13:30) 泊

9/2 雲ノ平山荘(5:45)祖母岳(6:00)アラスカ庭園(7:00)薬師沢小屋(9:00)太郎平小屋(12:40) 泊

9/3 太郎平小屋(6:00)～太郎山往復40分)五光ベンチ(7:30・朝食休憩60分)三角点(9:10)折立(11:20)直行バス(12:30)富山駅(14:30)

(8/30) 登山バスで降り立った折立は北ア深奥への有名なルート。ガイド・ツアーの登山者集団が次々現れる。三角点まではひたすら高度を上げるジグザク道。三角点はベンチも置かれた休息スポット。

ここから稜線、剣岳、立山連・大日連峰の絶景だ。

五光ベンチを経由して長い石積み階段を上り詰めれば太郎平小屋(泊)

(8/31) 太郎平小屋から薬師沢小屋まで約600mの下降。立派な仮橋で何度か渡渉。薬師岳方面の絶景や高地湿原の木道を楽しむ。薬師沢小屋は吊



り橋の袂よくぞここにという所にある。雲ノ平、高天ヶ原方面の分岐点、休憩食事をする人が絶えない。我らは大東新道黒部川

本流の岩ゴロゴロの河原を豊かな溪流にそって赤マークを注意しながら進む。

高天ヶ原への「B沢分岐」ここから500mの急登。ハシゴ・鎖・ロープ・滑りそうな岩、ザレ場のフルメニューが繰り返す。コースタイム3時間で高天ヶ原峠到達。フー!

1時間半後高天ヶ原温泉に浸かり至福のひと時。少し離れて男・女風呂が独立して設置され、河原の混浴風呂も健在だ。7回目という常連コンビがスペースを譲ってくれる。同行のSさんは貸切だったそう

だ。9/1 今日第二のハイライト雲ノ平を目指す。秘境の幽谷と、静寂な針葉樹林の山路を

たどる今回の山行、ピークを踏まない山旅。目と鼻の先のピークに立つは容易だが山の良さを別にもとめ楽しむ人のゆとりの山旅だ。しかし求められる脚力、体力は半端ない？

朝早い高天ヶ原の湿原、水晶岳、薬師岳が我らを見送り、高天ヶ原峠からは進路を南に



変え、ハシゴ・ロープを伝い高度をあげて4時間後雲ノ平の溶岩台地

に立つ。

昨夜お話しした老夫婦が好きなお酒とおいしいコーヒーを用意して山々と大空を眺め一日過ごしたいと言っていたスイス庭園の世界だ。

薬師岳、水晶岳、鷲羽岳、祖父岳…高天ヶ原山荘の紅い屋根も、日

本の山々が眼前に広がる。山荘レジデンド雲ノ平山荘



の台地に立つ姿、雰囲気ある太い梁・床・壁・扉そして名物石狩鍋。泊まるのが楽しみな山荘だ（料金も日本一）あとはご自分でお確かめを。

9/2・9/3 さらば雲ノ平。山荘も北ア深奥の山嶺も段々遠ざかる。アルプス庭園・祖母岳

からの槍穂は嬉しい。

アラスカ庭園を過ぎればじき薬師沢への下降ゴロゴロ道。薬師沢小屋で一周したこととなる。来た時とおなじような好奇心、緊張感で帰ろう。

（記&写真・宮崎 敏男）

（写真提供・佐藤聡美）



山行感想（佐藤 聡美）



初めての5日間もの長い山行でしたが、雨に当たる事も無く行程も安全にこなす

ことができ良かったです。

山を登り始めてから憧れていた山域の一つでも来れるとは思ってなかった所に行かれたのが嬉しいです。

険しい登り、ゴロゴロ河原を歩き秘湯に浸かり、雲ノ平はまさに雲上の世界。

山小屋のたたずまいと雰囲気素晴らしく、心に残りました。

Beautiful Wonderful World～

